

漫湖水鳥・湿地センター

たよひ

2007年8月15日発行

No.49



漫湖の水を調べてみよう ~ 探検・発見・ほっとけん ~

7月8日(日)、上原行雄先生を講師に招き水質講座を行いました。

のは川の上流から下流の水に加え、醤油や米のとぎ汁、アクエリアス(ジュース)など身近にある物を使ってパックテストで実験を行いました。実験結果から、私たちが日頃食べている「ご飯」の「米

のとぎ汁」や料理に使う醤油などは、COD値が非常に高く、牛舎や豚舎から流れる汚水より水を汚してしまうという話に参加者は「え~!?!」とビックリした様子でした。「だから、醤油の残りをそのまま流さないで新聞で拭き取ったり、米のとぎ汁は床拭きをするなど、川を汚さない生活をする事が大切なんだよ」という先生のお話や実験結果から、人と自然の深い繋がりを改めて知る事ができる講座でした。



泥の中の生き物探し



あれ?足が止まったぞ?

もしかして...



すすめえ~すすめえ~!!
ドロドロなんて怖くない



これが漕スキーだよ 上手でしょ!



7月16日(月)

藤井晴彦先生を講師に招き、観察会を行いました。漫湖は、泥干潟なので、少し干潟の中に入ると「ズボッ!?!」と足の付け根まで、はまってしまいます。泥にはまって動けなくなった子や、漕スキーを上手に進めて奥の方まで行けた子。参加者全員ドロドロになりながら夢中になって生き物探しをしました。

干潟からあがる頃、スコールの様な大雨が降って参加者の泥と汗を洗い流してくれました。センターに戻り長靴や足を洗った後、捕まえてきた生き物の観察を行いました。「Tバックをはいているのがオスでデカパンをはいているのがメス!!人間と反対だね!」など藤井先生のユーモアのある解説で会場は笑の渦でした。

夏休み自由研究企画 楽しく学ぼう!!マングローブ



7月21日(土)、馬場繁幸先生を講師に招き、マングローブについての講座を行いました。

よっこらしょ!!と先生が持ってきた大きなカバンの中から色々な形をした木がいくつも出てきました。机の上にザァーッと並べ終わると講座の始まりです。

水の中に生えているマングローブのスライドが出てくると、「何で? 水の中に木があるの?」という子ども達からの疑問の声に、「おっ! やっぱ君たちも不思議に思ってくれたか~!! 沖縄に来て先生は、海に森がある!! その木は年輪がない!! 木は水に浮く物と思っていたが、沈む木があった!!というのが3大疑問なんだ

よ!!」と共感する事ができ、嬉しそうな笑顔が見られました。さあ、この「なぜ?」の疑問の答えを探しに、実験スタートです。

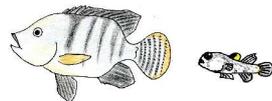
色々な形をした種や、中がコルク状になっている物、90度に折り曲がった根っこなど、見たことのない珍しい物に参加者の目は釘付けです。色々な木を水に入れてみよう という実験もあり、沈む木や水に色が付く木など、子ども達も体験して楽しんでいました。



1



2



捕まえたよ!!



3

マングローブで染めたスカーフを皆さん

に披露する馬場先生。

かすかに木の香がしました。

7月29日(日)、前田健先生を講師に招き、観察会を行いました。センターの2階レクチャールームで、漫湖のような汽水域に生息している魚たちの一生の話や、色々な魚のスライドを見た後、魚を捕まえに出発しました。わいわいしながら魚を追っかけているのかな? と様子を見にきてみると...皆さんかなり真剣!!ビックリするぐらい静かに魚を捕まえていました。

さあ、たくさんの魚を捕まえてセンターに戻ってきたら、水槽に入れて観察の始まりです 沖縄では「トントンミー」と呼ばれ昔から親しまれているミナミトビハゼ

夏休み自由研究企画 漫湖の魚を捕まえよう!!

や尾びれがとても綺麗なグッピー、とっても小さいけど立派な大人のミツボシゴマハゼ、棒のように長い体をしたアミメカワヨウジ、子どもに大人気のキララハゼなど22種類の魚を観察することができました。この日は天気に恵まれ日差しも強く、日射病にかかる参加者が出はしないかとハラハラしていましたが、事故もなく、最後まで元気いっぱいの観察会でした!!

漫湖水鳥かわら版 49

～7月 暑い干潟で Part. 2...～

	羽数	先月との比較
ゴイサギ	2	
アマサギ	1	
ダイサギ	3	
チュウサギ	7	
コサギ	8	
アオサギ	1	
ミサゴ	1	
ダイゼン	1	
アカアシシギ	5	
アオアシシギ	2	
キアシシギ	31	
コアジサシ	5	
カワセミ	1	
合計	68	

7月18日 ヒメヤマトオサガニ

この日は、観察会「泥の中の生き物探し」でした。太陽が照りつける中、潟スキーで干潟にこぎ出しました。

5mほど中に進んでじっとしていると、周りで生き物たちが動きはじめます。

最も多く目に入ってきたのが「ヒメヤマトオサガニ」です。「無数に…」という言葉がふさわしい数のヒメヤマトオサガニがもくもくとハサミを振り、泥を食べ…

夏を感じる、気持ちのいい時間でした。(もちろん、全身泥だらけですが…)



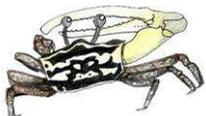
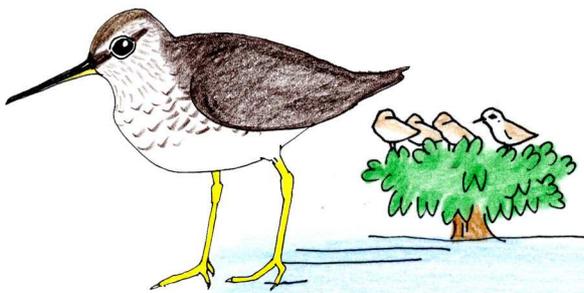
7月下旬 キアシシギ

7月下旬、キアシシギが多くなってきました。

鳥が少ないこの季節、夏休みでやって来る多くの来館者に「少しでも鳥を見て欲しい!!」と願う職員の助け舟がこのキアシシギです。

満潮時はマングローブの上に、干潮時は干潟をトコトコ歩いています。

これから、本格的な渡りが始まります。今年は、何羽来てくれるか楽しみです。



7月29日 キララハゼ

この日は、観察会「漫湖の魚を捕まえよう!!」でした。水路で捕まえた魚を水槽で観察していると、目を引く魚がいました。「キララハゼ」です。

体の横がキラキラと光り、とってもキレイ!!!去年の観察会でもキララハゼを捕まえることができましたが、今年は大きい!!!体長が10cm以上あったのではないかと思います。

「こんなにキレイな魚が、この泥の中にいるのか…」キララハゼを見ると、いつも思います。





トントンミークラブ 速報!!



トントンミー
までえ~!!

だ~め!!

お手前拝見。



目が♡♡の形してる!!



第1回トントンミークラブでは、トントンミーつかみや同じ葉っぱを見つけ出す「この木何の木?」というゲームなどをしました。次回の「たより」で、第2・3回のトントンミークラブの様子をお届けしますのでお楽しみに!!

ようこそ!! 漫湖水鳥・湿地センターへ

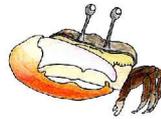
団体利用

7月	
学童・児童クラブ	地域
琉生保育園	那覇市
小学校	
琉大学附属小学校3年生	西原町
城岳小学校5年生	那覇市
中学校	
鏡原中学校1年生(2回)	那覇市
医療・福祉関係	
ゆいまある活動支援センター	那覇市

総入館者数
84,107名



7月の入館者数
1,666名
(うち団体 557名)



絵画・作文コンクール
まだまだ募集中!!
ヨロシクね



久高 萌

7月は、観察会や講座も多く、たくさんの方がセンターに来てくれました。先月、学校の総合学習などで見学に来てくれた子ども達。「調べ学習をしに来ました!!」と元気いっぱいです。子ども達の声で、センターのにぎやかな一日の始まりです!

漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会 (環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市)

〒901 0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840 5121 FAX(098)840 5118

開館時間: 9:00 ~ 17:00

休館日: 月曜日 (月曜日が祝日、振替休日の場合・翌日) 慰霊の日・年末年始 (12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: http://www.geocities.jp/manko_mizudori/